

令和3年度学校経営計画書

新見市立新見第一中学校

I 本校のミッション（使命・存在意義）

<p>1 生徒に対して</p> <p>(1) 「知識基盤社会」を念頭に置き、将来を主体的にたくましく生きぬく生徒を育成する。</p> <p>(2) 地域との連携を密にし、地域の良さに気づき、地域に貢献し、地域の文化を継承・発展させていく生徒を育成する。</p> <p>(3) グローバルな視点を持ち、これから始まる Society5.0 社会で活躍できる生徒を育成する。</p> <p>2 保護者に対して</p> <p>キャリア教育を核としながら、知・徳・体に関わる教育活動を充実させ、生徒の人間的・社会的・職業的自立の基礎を培い、生徒が成長していく過程を保護者と共有することで教育に関する協働意識・協働意欲を高める。</p> <p>3 地域に対して</p> <p>地域に開かれた学校づくりを通して、学校が地域住民のコミュニティの場となり、交流の拠点並びに街づくりの核としての役割を果たす。</p>

II 内外の環境分析

		強み	弱み
内部環境	生徒	<ul style="list-style-type: none">・全体的に素直で明るく心優しい生徒が多い。・基本的な生活習慣は概ね身に付いてきている。・基礎学力は概ね身に付いている。・運動や部活動に親しむ習慣が身に付いており、体力や運動能力が高い。・複数集団の良さを生かした教育活動が展開できるため、学級活動や学校行事へ意欲的に参加している。	<ul style="list-style-type: none">・自ら進んで行動したり発言したりすることを遠慮する傾向がある。・家庭学習の時間が不十分であり、家庭学習の習慣化が急務である。・自分の考えをまとめて、書いたり話したりする力（アウトプットの力）が弱い。・多くの生徒が SNS を利用しているが、操作技能に比べ情報モラル、情報セキュリティの意識や自己管理能力が低く、様々なトラブルがみられる。・学力不振や人間関係のトラブル、家庭環境に起因する不登校生徒や別室登校の生徒が多い。
	保護者	<ul style="list-style-type: none">・教育熱心で、学校行事への参加率は高い。・学校教育に対して協力的であり、PTA 活動に意欲的に取り組む機運がある。	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォンの買い与えに関する危機意識が低い。・親として社会の先輩として、子育てに関する明確な価値観を持っていない保護者が多い。

	<p>教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心でまとまりがよく、協働する組織になっている。 ・常に自己研鑽に励む意欲と実践力を有し、学び続けようとする意欲が高い。 ・ICT 機器を効果的に活用する教師が多く、先行的に教育の創意工夫に取り組もうとする意欲が感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として脂ののった中堅層が極端に少なく、若手に即戦力としての役割が求められることから、ベテランから経験の浅い若手への知の継承が急務である。 ・ベテランと若手の OJT の場を意図的に組む必要がある。 ・今日の教育課題はますます複雑多岐に渡っているため、関係諸機関との連携を一層密にする必要がある。
<p>外部環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境と保幼小中高大という一貫した教育環境が整備されている。 ・地域の中心部に位置し、規模的にも市の中心校であり、常に注目を浴びる存在である。 ・地域住民は総じて学校に協力的であり、地域で子供を育てようとする機運がある。 ・教育行政が ICT 設備の充実や外国語教育の充実など、情報化、国際化に向けた教育環境の充実に熱心である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に上がる 8 小学校のうち 7 小学校は小規模校であり、小中における様々な段差の解消が求められる。 ・バス通学の生徒が 2 割を占め、様々な面で時間的な制約を受ける。 ・生徒数の減少に伴い、高等学校の入学者選抜の倍率が年々低下しており、学習意欲の低下に少なからず影響を与えている。 ・学校の働き方改革に対し、さらなる理解を求めていく必要がある。

Ⅲ ミッションの追及を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

<ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育目標 『はつらつと心豊にたくましく生きる力の育成』 2 校訓 『自立・協力』 3 目指す学校像 ◇生徒にとって「個性や能力が伸ばせる学校」 ◇職員にとって「生徒とともに成長できる学校」 ◇保護者・地域にとって「信頼される学校」 4 目指す生徒像 ◇自ら考え、判断し、行動できる生徒 ◇思いやりをもち、協働して課題解決を図ろうとする生徒 ◇心身を鍛え、諦めず最後までやり抜く生徒 5 目指す教師像 ◇生徒と誠実に向き合い、情熱を傾ける教師 ◇家庭との連携を密に図り、温かく家庭と接する教師 ◇自己研修、校内研修に励み、能力や資質の向上を図る教師。（理論と実践の往還を意識する。） ◇小学校との連携を一層深め、9年間で子どもたちを教育する視野をもつ教師。

IV 指導の重点

令和3年度 新見第一中学校 学校経営構想図（グランドデザイン）

学校教育目標 はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

めざす生徒像

- 1 自ら考え、判断し、行動できる生徒
- 2 思いやりをもち、協働して課題解決を図ろうとする生徒
- 3 心身を鍛え、諦めず最後までやり抜く生徒

成長を実感できる
学習づくり

- 学習指導のスタンダードの徹底（授業ファイブを意識したねらいと振り返りの重点化→生徒が主役となる授業づくり）
- 協同学習を核にした能動的思考の重視
- まなびノートの活用による自主的な学習態度の育成
- 複数の教員スタッフによる放課後補充学習の充実

自己肯定感を育む
集団づくり

- 生徒指導の3機能を意識した、生徒の主体性を重視した特別活動の推進
- SEL、ピア・サポートを中心とした対人関係スキルの向上や自己有用感の醸成
- P B I Sを中心とした望ましい行動の可視化を通しての自己肯定感の向上

安全で安心できる
生活づくり

- 集団生活におけるルールやマナーの定着（きまりの遵守、挨拶の励行、時間の厳守、掃除の徹底などの凡事徹底）
- 厳しく温かい指導を基盤とした人間関係の構築（正義が通る学級風土の醸成）
- 教育相談体制の充実による的確な情報収集と鋭敏な感性による生徒理解

学校経営を支える体制

- 1 教員の指導体制 : ①目標の共有と研修を核にした資質・能力の向上
②職員相互の信頼とチームワークの構築
③ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進
- 2 関係機関との連携 : 警察署、児童相談所、市役所子ども課、SC、SSWとの連携
- 3 家庭との連携 : 授業参観、保護者会、保護者教育相談、PTA活動の推進
- 4 地域との連携 : 学校運営協議会、新見みらいづくり会議、民生委員との連携

令和3年度 学校教育目標及び校内研究主題

新見市立新見第一中学校

<教育目標>

はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

<研究主題>

主体的に学び合い、高め合う生徒の育成を目指して

<研究主任>

I 基盤となる考え方

子どもたちは勉強が分かりたいという願いを必ずもっている

生徒は学び続ける限り決して崩れない（もう無理と諦めさせない）

そのためには授業等に対する一層の改革が必要

（中教審答申：生徒の興味・関心に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することが一層求められている。）

II 研修内容

基本的に総社市が行っている「だれもが行きたくなる学校づくり」の理論を取り入れる。特に、授業改善で直接的に生きて働く<協同学習>を中心に<SEL><ピア・サポート>のそれぞれ部会を設け、校内研修を実施する

- ①<協同学習>：ペアやグループの活動における感情、役割、思考の交流をとおして思考力や判断力を深めるとともに、良好な人間関係を築き支持的風土の醸成を図ることで、学力や学習意欲の向上と情緒的、社会的な発達を促す。協同学習を実践していくことで、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行う。

○授業改善についての考え方

授業改善を図るためには、黒板を背にして教師が一方的に教科書を説明し、生徒が受け身でノートに筆記する授業からの転換を図らなければならない。さらに言えば、教師が懸命に教えるテンションの高さとは対照的に、静的に沈みこんだ生徒の姿からの脱却を図ることに他ならない。では、何をどう改善していくのか？

授業観の転換

「教師がどのように工夫して教えるかという思考から、生徒はどのような方法を用いて問題を発見したり自身の考えを広げたり深めたりしようとしているか」という思考への転換。要は、生徒の頭の中がどのくらいアクティブ（能動的）になっているかという視点を重視する必要がある。

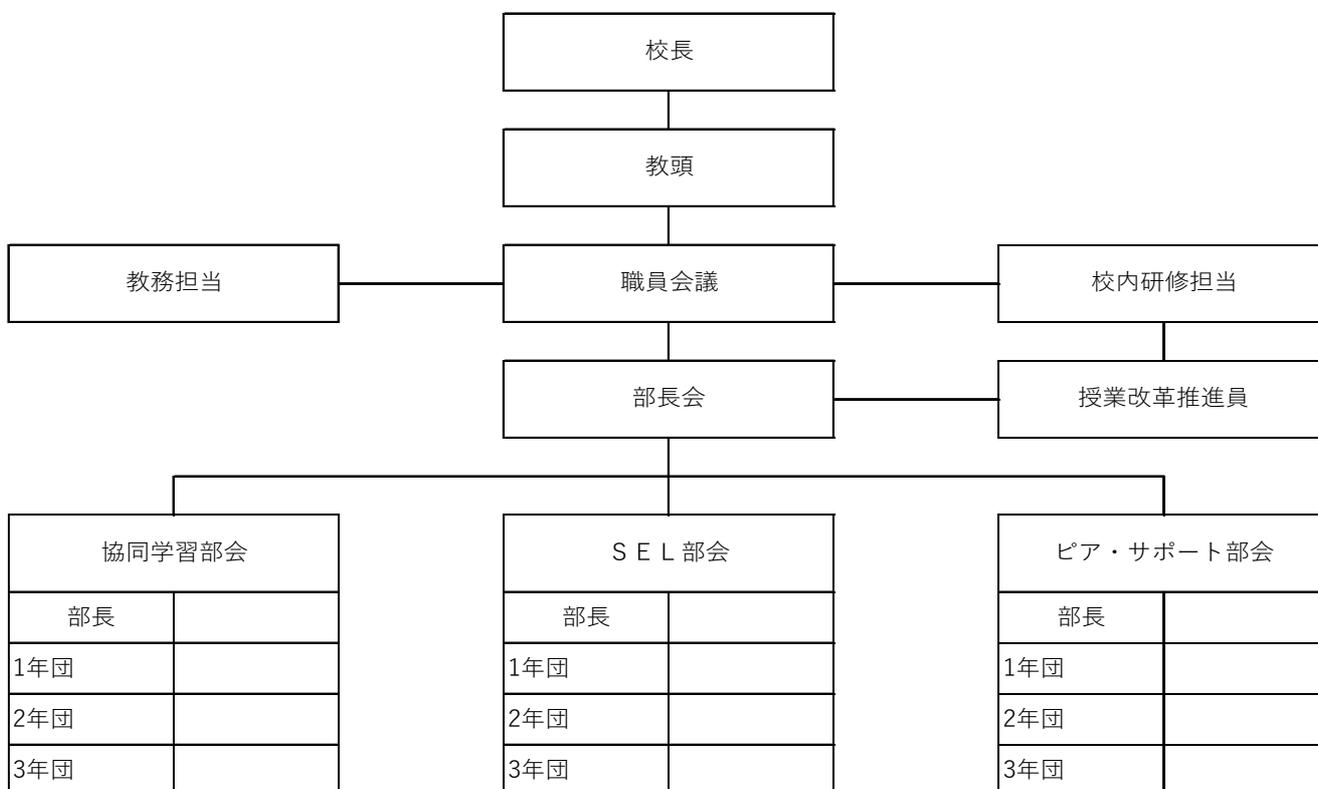
- (1) 授業の中で①作業的な活動（個人思考）と②小グループでの話し合い（協同学習）（グループ思考）と③生徒相互の発言の交流と共有（集団思考）をすべての授業で取り入れる。
- (2) 日常的に授業を他者に関き、同僚の言葉に心を開き、謙虚に自分の授業を反省する。授業見学・授業公開を行い、相互に研修を深める。（授業見学週間）
- (3) 5教科の教科ごとに1人が授業研修を行う。その指導案は教科会で考える。
授業は該当教科の教師と授業改革推進員の先生が見学し、その後、振り返りを行う。
（教科別授業研修）

②<SEL (Social and Emotional Learning) > : ストレス・マネジメントやアサーショントレーニング、アンガー・マネジメント等生徒の社会性（対人関係）に関するスキルや態度、価値観を身に付けること

③<ピア・サポート> : 「ピア」とは仲間という意味であり、「ピア・サポート」とは仲間が仲間サポートする活動である。子どもたち相互の人間関係を豊かにするための学習の場を、学校の実態や課題に応じて設定し、そこで得た知識やスキルを基に、仲間を思いやり支える実践活動を行う

Ⅲ 研修体制

R3年度新見第一中学校研修体制図



- ★部長会・・・第一中学校としての成果、課題の検討、今後の方向性について協議する。また3部会の取組を確認するとともに、関連のある取組を効果的に配置したりダブらないようにする。部長会には、「誰もが行きたくなる学校づくり」の実践経験のある小林先生にアドバイザーとしてかかわっていただく。
- ★部会・・・「協同学習」「SEL」「ピア・サポート」の3部会とし、各部会に部長と部員（各学年から1～2名配置）で構成する。部会での話し合いがスムーズに学年団に伝わり、組織的に取り組むことができるようにする。
- ★教科担当（教科会）・・・教科ごとに教科会を、適宜開催し、指導方法、評価などについて協議・情報交換を行う。

IV 部会の取組内容

<協同学習部会>

教科会で、各教科でどのように取り込めるかを話し合い、可能な限り各時間の指導に協同学習を組み込むこととする。他教科の授業を参観し、「取り入れるための工夫を」を考え、より効果的な協同学習を目指す。

<SEL部会>

ピアサポートワークブックを基に、各学年で内容を決定し、総合的な学習の時間や学級活動の時間を使って実施するための企画・立案を行う。

<ピア・サポート部会>

SELで身に付けたスキルを使ってピアサポート活動を行い自己肯定感や自己有用感をはぐぐむことのできる活動を具体的に企画していく。

※ 今年実践した例

- 学習支援ピア・サポート（上級生が下級生の学級に出向き、学習支援を行う。）
- 学校行事ピア・サポート（2年生が1年生の学級に出向き、学校行事等に関する情報提供を行う。）
- 進路学習ピア・サポート（3年生が下級生の学級に出向き、進路達成に向けて取り組んだことや獲得した知識を伝えたりする。）

V 校内研修の流れ ※日時は変更する場合があります。

日時	内容	
4月9日(金)	協議	・今年度の取組について・各部会の協議事項の確認
5月 日()	授業研修会	・協同学習の授業実践(見取り・振り返り)
6月	教科別授業研修	・(5教科)教科ごとに授業改革推進員を交えて授業研修を行う。
7月 日()	協議	・1学期の振り返りと2学期にむけて
9月	調査	・生徒アンケート
10月	授業見学週間	・期間中に必ず、授業を見学する。
11月 日()	授業研修会	・SELの授業実践(見取り・振り返り)
2月	調査	・生徒アンケート
3月 日()	協議	・1年の取組のまとめ



令和3年度 中学校教育課程編成表

新見市立新見第一中学校

校長 小藤 一成 印

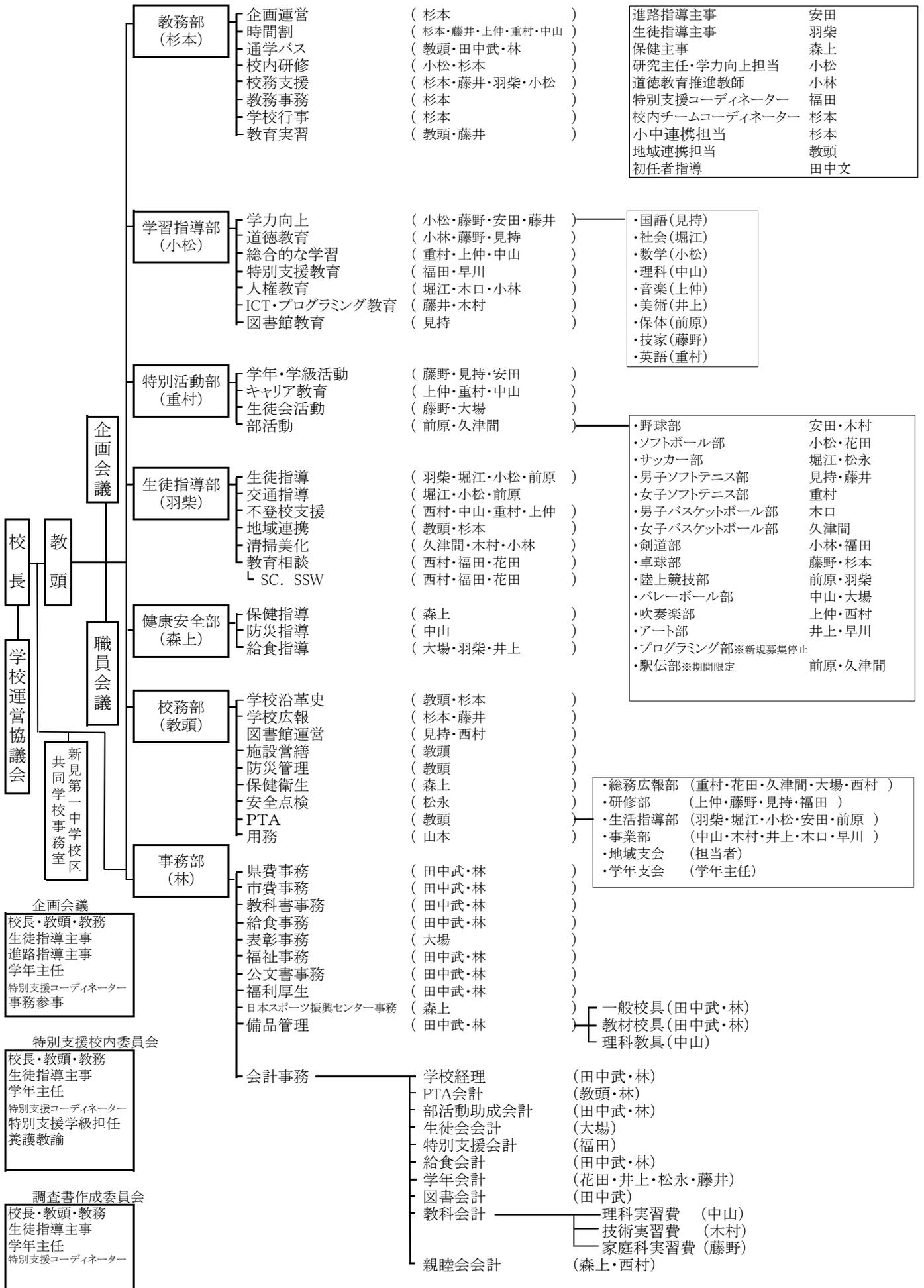
学目 校 教 育 標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成			指 導 の 重 点	○学力の定着を図り、主体的に学ぶ態度を育成する。 ○自他を尊重し、互いに認め支え合う集団を育成する。 ○健康的な生活習慣を確立し、強い心と体を育てる。 ○将来を展望し、自己の生き方を考える意欲を育てる。					
年 間 授 業 日 数				授 業 時 数 の 配 当						
学 年	1	2	3	特 学 別 校 活 動 事	区分	学年	1	2	3	
日 数	202	203	195		儀式的行事		6	6.5	6	
授 業 時 数 の 配 当					文化的行事		4	4	4	
区分	学年	1	2		3	健康安全・体育的行事		5	5	5
各 教 科	必 修 教 科	国 語	145	144	106	旅行・集団宿泊的行事		6	6	8 (9)
		社 会	110	110	140	勤労生産・奉仕的行事		5	8.5 (8)	2 (4)
		数 学	144	115	141	計		26	30 (8)	25 (13)
		理 科	110	144	140	総合を特活に代替する場合は、その時間数を()書きで外数として記入すること				
	選 択 教 科	音 楽	48	38	35	1 日の時程表		その他学校の教育活動に関する事項		
		美 術	48	38	35	8:10	読 書	1. 総合的な学習の時間 ○プロジェクト学習として選択型と必修型の2パターンを実施する。 ○プログラミング学習で育成するプログラミング的思考力やプレゼンテーション力を、各プロジェクト学習に生かす。 A. 選択型プロジェクト学習 (全学年) ○地域の産業 ○身近な福祉 ○郷土の偉人 ○地域の観光 ○地域の文化 B. 必修型プロジェクト学習 ~ふるさとキャリア学習~ 1年 新見発見プロジェクト 2年 新見体験プロジェクト 3年 新見貢献プロジェクト 2. まなびタイム 水曜日6限目をまなびタイムとして、各教科の補充学習にあてる。 3. 朝読書 始業前15分間を読書活動に充てる。 読書習慣の定着と、落ち着いた学習環境づくりの一環として実施する。 4. 授業改革に向けて 次の3点をすべての授業の中に取り入れる。 ①作業的な活動(個人思考) ②小グループでの協同学習(グループ思考) ③生徒相互の発言の交流と共有(集団思考) 5. 個別指導(最大30分) 帰りの会終了後、必要に応じて個別の学習指導の時間を設定する。個別指導が必要な生徒を対象に少人数での学習支援を行う。 6. 家庭学習 「一中型家庭学習のスタンダード」に基づき、自ら学ぶ力を育成する。計画的な宿題・学びノート・学習支援の3つを柱にして、家庭学習時間の確保と充実を目指す。		
		保健体育	110	110	106	8:25	朝の会			
		技術・家庭	74	74	35	8:45	1校時			
		外国語	144	144	141	9:35	休 憩			
		国 語				9:45	2校時			
社 会				10:35	休 憩					
数 学				10:45	3校時					
理 科				11:35	休 憩					
音 楽				11:45	4校時					
美 術				12:40	給食・休憩					
保健体育				13:35	5校時					
技術・家庭				14:25	休 憩					
外国語				14:35	6校時					
その他()				15:30	清 掃					
特別の教科である道徳		38	38	35	15:50	帰りの会				
総合的な学習の時間 <small>()内は特活に代替した時間数(内数)</small>		65	80 (6)	70 (13)	16:05	個別指導				
特別 活動	学級活動	50	50	35	16:15	部活動				
	生徒会活動	(20)	(20)	(20)	17:00 ~18:00	季節により変動 下 校				
総授業数 〔()の時数を除く〕		1086	1085	1019						

令和3年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名		新見市立新見第一中学校		校長名	小藤 一成 印		
障害の種類		自閉症・情緒障害		学級名	ゆずりは学級		
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成			指導 方針	○人との関わりを円滑にし、よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。 ○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。		
	区分		授業時数の配当				
		1		2		3	
各 教 科	必 須 教 科	国 語	144	141	105		
		社 会	106	107	140		
		数 学	142	110	140		
		理 科	106	142	140		
		音 楽	48	38	36		
		美 術	48	38	36		
		保健体育	110	110	106		
		技術・家庭	74	74	35		
		外国語	106	106	105		
	*（職業・家庭）						
	選 択 教 科	国 語					
		社 会					
		数 学					
		理 科					
		音 楽					
		美 術					
		保健体育					
		技術・家庭					
		外国語					
その他（ ）							
小 計		884 (81.4%)	866 (79.8%)	843 (82.7%)			
特別の教科である道徳		36 (3.3%)	36 (3.3%)	36 (3.5%)			
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>		60 < > (5.5%)	80 <8> (7.4%)	70 <13> (6.9%)			
特別活動		46 (4.2%)	46 (4.2%)	35 (3.4%)			
*（自立活動）		60 (5.5%)	57 (5.3%)	35 (3.4%)			
総授業時数		1086	1085	1019			
年間授業日数		202	203	195			
予 定 生 徒 数	学 年	1	2	3			
	男	3	1	0			
	女	0	0	0			
	計	3	1	0			
備 考		音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。					

令和3年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名		新見市立新見第一中学校		校長名	小藤 一成 印		
障害の種類		知的障害		学級名	あけぼの学級		
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成			指導 方針	○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。 ○よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。		
	区分		授業時数の配当				
		1		2		3	
各 教 科	必 須 教 科	国 語	140	141	140		
		社 会	105	105	105		
		数 学	105	106	140		
		理 科	105	106	105		
		音 楽	48	38	35		
		美 術	48	38	35		
		保健体育	110	110	106		
		技術・家庭	74	74	35		
		外 国 語	70	73	70		
		*（職業・家庭）					
	選 択 教 科	国 語					
		社 会					
		数 学					
		理 科					
		音 楽					
		美 術					
		保健体育					
		技術・家庭					
		外 国 語					
その他（ ）							
小 計		805 (74.1%)	791 (72.9%)	771 (75.7%)			
特別の教科である道徳		36 (3.3%)	36 (3.3%)	35 (3.4%)			
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>		60 < > (5.5%)	72 <8> (6.6%)	70 <13> (6.9%)			
特別活動		46 (4.2%)	46 (4.2%)	35 (3.4%)			
*（自立活動）		139 (12.8%)	140 (12.9%)	108 (10.6%)			
総授業時数		1086	1085	1019			
年間授業日数		202	203	195			
予 定 生 徒 数	学 年	1	2	3			
	男	0	5	1			
	女	1	0	0			
	計	1	5	1			
備 考		音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。					



令和3年度 年間行事予定

令和3年3月22日現在

ファイルの場所 教務部→企画運営→年間計画

新見市立新見第一中学校

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
1	木	年度初休業日(4月7日まで)	土	火	木	日	PTA奉仕作業 レクリエーション大会	水	金	月	水	土	日	火	木	水	土	火	水	木	火	1・2年学年末考査	1		
2	金	職員会議	日	水	金	月		木	土	火	木	土	日	火	木	水	日	水	木	火	水	1・2年学年末考査	2		
3	土		月	憲法記念日	木	土	初任研	金	日	水	土	日	火	木	水	金	月	木	火	土	木	入学説明会	3		
4	日		火	みどりの日	金	日	備北夏季総体	土	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	土	日	金		4		
5	月	職員会議	水	子どもの日	土	月		日	火	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	土	木		5		
6	火	生徒理解会議	木	初任研	日	火	備北夏季総体予備日 健康の森交流会	金	月	水	土	日	火	木	水	土	火	金	土	日	日		6		
7	水		金	参観日 学級・学年懇談 PTA総会	月	水		土	火	木	日	月	土	日	火	金	月	土	日	月	月		7		
8	木	1学期始業式	土	火	木	日	初任研	水	金	月	土	日	火	木	水	土	火	金	土	日	火	公立一般入試	8		
9	金	入学式	日	水	金	月	振替休日	木	土	火	木	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水	公立特別入試	9		
10	土		月	木	土	火	開庁(8月16日まで)	金	日	水	土	日	火	木	水	土	火	金	月	木	公立特別入試 1・2年実力テスト	木	10		
11	日		火	金	日	水		土	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	金	建国記念の日	金	卒業式	11	
12	月		水	土	月	木		日	火	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水	3年実力テスト 1・2年課題テスト	土	12	
13	火		木	日	火	金	保護者懇談	月	水	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	日	日		13		
14	水		金	月	水	土	保護者懇談	火	木	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	月	月		14		
15	木		土	火	木	日	保護者懇談	水	金	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	火	1・2年参観日	15		
16	金	1年課題テスト	日	水	金	月	保護者懇談	木	土	火	木	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水		16		
17	土		月	木	土	火	初任研	金	日	水	金	日	月	土	日	火	金	月	土	日	木		17		
18	日		火	金	日	水		土	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	金		金		18	
19	月		水	土	月	木	1学期終業式 職員会議	日	火	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水	3年学年末考査	土	19	
20	火		木	日	火	金	吹奏楽祭	月	水	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	日	日		20		
21	水		金	月	水	土	夏季休業日(8月29日まで)	火	木	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	月	月	春分の日	21		
22	木		土	火	木	日	海の日	水	金	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	火		22		
23	金		日	水	金	月	スポーツの日	火	木	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水	天皇誕生日	23		
24	土		月	木	土	火		日	火	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日	木		24		
25	日		火	金	日	水		土	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	金		金	修了式 職員会議	25	
26	月		水	土	月	木		日	火	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日	水	職員会議 評価会議	土	26	
27	火		木	日	火	金	3年出校日	月	水	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日	日	日	木	私立1次入試?	27	
28	水	職員会議	金	月	水	土		火	木	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	月	月	職員会議	土	28	
29	木	昭和の日	土	火	木	日	初任研	水	金	月	土	日	月	火	木	水	土	火	金	日			火	29	
30	金		日	水	金	月	教育研究会	木	土	日	月	土	日	火	木	水	土	火	金	日			水	30	
31			月		土	火		日				日				金							木	31	
1年	15	15	33	18	55	22	68	13	70	2	90	20	111	21	131	20	149	18	166	17	184	18	202	18	授 業 日
2年	16	16	34	18	56	22	69	13	71	2	91	20	112	21	132	20	150	18	167	17	185	18	203	18	
3年	16	16	34	18	56	22	69	13	71	2	91	20	112	21	132	20	150	18	167	17	185	18	194	9	
給食日		14		17		22		13		2		19		21		19		18		17		18		16	給食 196

☆期末考査について 1学期は9教科実施。 テスト時間(25分でも可)は柔軟に対応する。 2学期からのテストは再検討して、実施の有無・形態を考える。

☆学年活動について 生徒の主体的な活動を中心に据える。各学年とも、①校内での集団作り活動(学習成果発表活動)と、②校外での体験学習活動を2学期末までに実施する。実施時期は内容に応じて設定する。①については参観日扱いも可。

☆3年修学旅行は、10月に実施予定(沖縄)